

令和4年度西尾市青年国際ワークキャンプ派遣事業

概要

派遣先 フィリピン共和国セブ州バリリ市

セブ市内から南西に約 60 km の西海岸沿いのエリア。現地の小学校の設備や教育の質は改善の余地が多くあり、ボランティアを必要としている。都市部から離れ普段外国人と接する機会が少ない子ども達には、異文化理解を育む機会にもなる。また地域の若者と交流し、彼らの地域活動への参加も盛り上げたい。また、2021 年 12 月に死者 400 名超、避難者数 10 万人を出し、家屋・町・電力・通信等に甚大な被害をもたらした台風 Rai の爪痕はここにも未だに残るため、その復旧作業も手伝う。

派遣期間 令和 5 年 2 月 18 日（土曜日）～2 月 26 日（日曜日）、計 9 日間

派遣人数 最大 10 名

参加費 約 17 万円（派遣費用から、市から補助 10 万円を引いた金額）

参加費に含まれるもの 渡航費、国際ワークキャンプ活動費、滞在費、海外旅行保険料

宿泊 1 日目、8 日目はセブ市内のホテルに宿泊し、2～7 日目（国際ワークキャンプ活動中）は、学校施設内等で寝袋を使用する予定。

活動内容

1) 小学校で日本語・日本文化を紹介する授業の企画・準備・運営

フィリピンの公立学校は授業料が無料であるが、設備や先生の不足から十分な教育を提供できていない。また、貧困層の子どもたちも大勢いるため、小学校では 30 パーセント、高校では 50 パーセントの生徒が卒業まで在籍せず、途中でドロップアウトしてしまう。その理由は学用品や正副が買えない、家の仕事を手伝わなければならない、などといった現状がある。

2) 台風「Rai」による被災地の復旧を支援

2021 年 12 月 16 日から 17 日にかけてフィリピン中心地域を襲った台風 22 号「ライ」（フィリピン名：オデット）は、最大瞬間風速が時速 260 キロメートル、中心気圧が 915 ヘクトパスカルに達する「スーパー台風」として強い勢力を保ったままミンダナオ島の北スリガオ州、ディナガット諸島、南レイテ州、ボホール州、セブ州、東ネグロス州、パラワン州に上陸、各地に大きな被害をもたらしました。フィリピン政府の発表によると、北半球で観測史上 3 番目の強さを記録したこの台風による死者は 409 人にのぼり、現在も 13 万人以上が避難生活を余儀なくされています。（日本赤十字社 HP より）